

1 高度職業訓練の実施状況

【評価区分】4:適切 3:おおむね適切 2:一部改善を要する 1:改善を要する

大項目	小項目	取組状況	自己評価	外部評価	委員意見
体系的な訓練課程の編成(1)	育成する人材像と教育の重点事項を定め、明示している	学生募集パンフレットを全面更新し、本校の基本理念や教育方針を専門家の知見を入れてより分かりやすく明示するようにした。また、各科の育成目標や取得を目指す資格を明記して科毎の違いを明らかにし、さらに在校生の声も写真入りで紹介して各科の様子を入学希望者や保護者等に伝わるように改善した。	3	4	◆本校の基本理念に沿った教育は、概ね実施できていると思う。 ◆パンフレットの更新や、教育目標・取得可能な資格の明示など、具体的な改善策が進められている点も良い取り組みである。これらの情報が入学希望者や保護者に分かりやすく伝わるよう改善されたことは、学校の魅力を適切に伝えるうえで大きな効果があると感じた。 ◆パンフレットには、卒業後の「県内就職」を意識させる内容も盛り込んだ方がよい。 ◆できれば3年程度しっかり定着して頑張っている修了生をパンフレットに載せるのが良いと思う。3年以内離職率が30%などと言われる時代なので、しっかり定着している人を載せることが、学校の良さをアピールすることにつながると思う。 ◆パンフレットのデザインと内容が一新され、見やすくなったと感じる。 ◆教育方針とともにアドミッションポリシーを示したことがよい。 ◆募集パンフレットの全面更新、良かったと思う。最近は保護者の意見が進路の重要決定要因となるので、保護者に伝わるよう改善されたことは評価できる。 ◆パンフレットにおいて、動画へのQRコードを掲載したり、企業担当者や卒業生のインタビューを掲載するなど、改善がみられる。 ◆「ものづくりに誇りを持てる教育」は「ものづくりに対する誇りをはぐくむ教育」が分かりやすいのではないか。 ◆HPの教育方針は見やすく表示されているが、パンフレットとの整合性を取るのであれば、「教育方針」と明示した方が良い。 ◆それぞれの教育方針がどの科目とつながっているかはカリキュラム目標に示されているので、教育目標のところからカリキュラム目標にリンクがあるといいのではないか。 また、各教育目標の下の内容(例えば生産現場で多様な人と協働できる力を育成)に対してどの科目が関係するかまで示せるとさらに良い。 ◆リニューアルされたパンフレットは、昨年と比較して各段に見やすくなった。 QRコードから動画が視聴できるようになったのも、よりわかりやすく改善されていると思う。 逆に、昨年は2年間のロードマップが掲載されていたが、リニューアル版では掲載がない。外した理由は何か？ ◆企業・人事担当者VOICEのページに掲載されている企業を選ばれた理由は何か？
	体系的に訓練課程を編成し、明示している	学科ごとに訓練課程を体系的に編成し、①カリキュラム目標、②カリキュラムチャート、③年間計画を作成しているが、今年度これを見直し、①②の関連の明確化及び記載内容の不一致を修正した。これにより取得可能な知識・技能、対応する科目、習得時期をより具体的に示している。	3	3	◆体系的に訓練課程を編成し、明示している点は非常に分かりやすい。ただし、その内容がどの程度学生に浸透しているかについては、今後検討が必要であると感じた。 ◆記載内容が全科で統一され、分かりやすくなった。 ◆カリキュラム目標の項目名「資格試験・行事」が科によって異なるので、全科統一するとよい。 ◆カリキュラム目標、カリキュラムチャートは学生も見ると資料なのか。学生が見るのであれば、もう少し分かり易いものがあると良いと思う。 ◆カリキュラム目標に教育方針との関係が示されていていいと思う。この資料ではICTも書かれているので、教育方針の中にもICTを含めるべきではないか。あるいは、社会の変化に対応できる能力の習得の中に、ICTを含めればよいと思う。 ◆「カリキュラム目標」と「カリキュラムチャート」が別々にあるよりも、できれば1つの資料に統合して、「この教育目標に対して、どのようなカリキュラムがあり、それがどの科目に結びついているのか」が網羅的に見える方が、学生や外部の人にとって非常に分かりやすいのではないかと感じた。

評価シート 1

静岡県立工科短期大学の教育・訓練等の実施状況評価（対象：令和7年度）

1 高度職業訓練の実施状況

【評価区分】4:適切 3:おおむね適切 2:一部改善を要する 1:改善を要する

大項目	小項目	取組状況	自己 評価	外部 評価	委員意見
体系的な訓練課程の編成(2)	学習成果を定め、明示している	科目ごとに授業の概要とその到達目標を定めた④シラバスを修正し、授業時間や担当講師、成績評価方法を明記した。	3	3	◆具体的に示している点は大変重要であると思う。 目標を定めたことも非常に良い取り組みであるが、目標に到達するまでの目的(マイルストーン)を設定し、段階的に進捗を確認できるようにすることが望ましいと感じた。 ◆シラバスの改善は見られる。 ◆各科目のシラバスを見ていく中で、評価基準における「出席状況」や「レポート」の割合に、科目ごとのバラつきがある点が少し気になった。ある科目では出席割合が20点、別の科目では30点や40点になっている。科目ごとの特性(実習が多いなど)があるのは理解しているが、このブレのバランスが適正なのかどうか、少し気になるところである。 ◆シラバス変更確認した。なお、授業内容が科目によって内容を記述されているものと項目のみのものがあり、できれば内容も記述していただいた方が良いと感じた。 ◆成績評価など、シラバスの記載内容はしっかり修正されていると思う。授業科目の位置づけの欄は、何を書くべきかが決まっていない印象で、到達目標が書かれている場合や、他の科目との関係を書いている場合などがある。 ◆教育目標との整合性(どの教育目標に紐づいているか)を明確にするという意味では、シラバスの中に「教育目標との関連欄」を一つ新設するのも良いのではないかと思う。 ◆授業内容(時間)と記載があるものがあるが、時間が記載されていない。
	修了認定方針を定め、明示している	⑤履修規程(学生便覧に掲載)を改正し、授業科目に記載されていなかった県独自科目の追加、単位の認定方法や再履修で出席免除が許可される条件について見直した。	4	4	◆県独自の追加項目とは何を指すのか、また出席免除が認められる条件についても、明確に示していただきたい。 ◆修了認定方針がどのようなプロセスで決定されているのかについて、委員会メンバーにも分かるように明示していただけると、より透明性の高い運営につながると考える。 ◆実情を踏まえて修正されたと思う。 ◆第6条に規程されている「受講状況」とは出席率のことか。合格基準に記載されている出席80%以上と明記してはいけないのか。 ◆履修規定はしっかり整備されてきたと思う。 第6条2項で、追試験を行わない場合もあるのか。(他の方法で行うのであれば、それも明記してほしい。) ◆履修認定(80%以上の出席)されないと単位認定されないが、特別な配慮が必要な学生に対しては何かされているのか。 ◆履修認定のために、全科目出席を記録して残しているという理解でよろしいか。 ◆留年率はどのくらいか。

1 高度職業訓練の実施状況

【評価区分】4:適切 3:おおむね適切 2:一部改善を要する 1:改善を要する

大項目	小項目	取組状況	自己評価	外部評価	委員意見
授業科目における訓練目標、授業科目の内容と方法、訓練計画及び成績評価基準の明示	授業科目における訓練目標、授業の内容と方法を明示している	④シラバスにより、科目ごとに授業の到達目標と内容、方法、使用する教材等を具体的に示している。	4	4	◆シラバス変更確認した。なお、授業内容が科目によって内容を記述されているものと項目のみのものがあり、できれば内容も記述していただいた方が良いと感じた。（再掲） ◆授業内容に時間も書くべき。 ◆指定テキストは具体的に書くべき。 ◆教科書と教材を分けて書くべき。（分けて書いている科目もある。） ◆履修の留意点や科目の位置づけに書くべき内容が統一されていない。 ◆HPでは検索機能があることが望ましい。
	訓練計画を明示している	③年間計画と⑥訓練概要により、教科の細目と時間数を明記している。また、④シラバスにより、科目ごとの授業の概要、開講時期等を明記している。	4	4	◆シラバスにおいて、訓練を授業としたことにより、学生にとってはわかりやすくなったと思う。
	成績評価基準を明示している	⑤履修規程（学生便覧に掲載）に再試験となる条件を明記するとともに、④シラバスに科目ごとの配点を明記している。	4	4	◆再試験となる条件については、学生便覧に記載されている内容を踏まえ、差し障りのない範囲で明示した方が良いと考える。学生が自身の学習状況を適切に把握できるよう、再試験の基準を分かりやすく示すことは重要である。 ◆シラバスにおいて、配点が明示されたことはいいと思う。履修認定方針については、上記のコメントと同じである。
授業科目の適切な設計・実施	授業科目は、必要な能力を育成するよう適切に編成し、実施している	⑦職業能力開発促進法施行規則第12条に規定された標準的な教科や時間数等に準拠し、①カリキュラム目標、②カリキュラムチャートにより科目と履修する時期を体系的に位置付けて編成し、④シラバスに基づき実施している。2年間の集大成である総合制作実習では、取り組みの過程で生じた問題を職員・学生がともに考え解決している。また、一部の科では複数人でチームを組み、ともに意見を出し合ったり、それぞれの得意分野で補完し合い制作するようにしている。	3	3	◆チーム編成がどのような方法で行われているのかについて、明確にしていきたい。 また、効率的な議論を行うためには、適切なチーム人数をあらかじめ設定することが望ましいと考える。 さらに、チームにはリーダーの存在が不可欠であり、その選定方法についても検討し、明示していただけるとより効果的な運営につながると思われる。 ◆学生同士による意見交換は極めて重要であると思う。 ◆どのような知識や技能を身に付けられるのかをカリキュラム目標やカリキュラムチャートで分かりやすく示したうえで、そのような編成で十分なのか、といった点を卒業生や産業界に対して意見をうかがう場を設けるべきである。 ◆総合制作実習で、新たに追加された取り組み内容を確認できる関係資料はあるか。
	授業実施内容を評価する仕組みを持っている	学期ごと期末に、⑧学生に授業改善アンケートを実施している。アンケートの設問を改善し、本人にとって難易度はどうだったか、講義内容が目的に沿ったものか、分かる内容にした。アンケート結果は、教務課全職員と管理職が共有する形でフィードバックし、授業改善を図っている。また、指導技法及び授業評価の向上を目的に、⑨指導技法研修等実施要領に基づき、研究授業と公開訓練研修を実施しており、その実施記録も共有し、授業の改善に活かしている。	3	3	◆共有化を進めること自体は大変重要であると感じている。しかし、教務課と学生が課題に対して主体的に考え、学習する組織として機能しているのかについては、疑問を持った。そのため、いわゆるPDCAサイクルを確実に回し、課題の把握・改善・検証を継続的に行う仕組みづくりが必要であるとする。 ◆質問項目3は「……難易度は高いと感じましたか。」等にし、選択肢を「高いと感じた」「やや高いと感じた」「感じなかった」「やや低いと感じた」「低いと感じた」等にとすると、集計後のデータが分かりやすくなると思う。 ◆アンケート結果をフィードバックされており良いと思う。 ◆いただいた資料では、研究授業と公開訓練研修の実施記録が確認できなかった。 ◆アンケートの回答方法はどのようにされているのか。 ◆アンケートの回収率はどのくらいなのか。

評価シート 1

静岡県立工科短期大学の教育・訓練等の実施状況評価（対象：令和7年度）

1 高度職業訓練の実施状況

【評価区分】4:適切 3:おおむね適切 2:一部改善を要する 1:改善を要する

大項目	小項目	取組状況	自己評価	外部評価	委員意見
成績評価及び単位認定の適切な実施	成績評価を適切に実施している	⑤履修規程に基づき、授業の担当職員が成績評価基準により評価し、学科ごとに班長(科の責任者)が取りまとめる。各学科が取りまとめた成績評価について、校長を座長とし、各科横断の履修判定会で総合的なチェックを行い、評価の妥当性を検証し、客観性を確保している。 履修判定会実施要領⑩を作成するとともに、議事録を作成、各科と管理職が共有できるようにした。 また、新たに成績分布⑪を作成し、教科による成績の差について検討を始めた。 また、必要な技能、知識の習得状況を検証するため、⑫技能照査実施要領により、職業能力開発促進法第21条に基づく技能照査を訓練修了前2か月間に実施している(学科・実技試験の得点それぞれ60%以上、合格者は「技能士補」となる)。	3	3	◆成績分布を作成し分析することで、より精度の高い成績評価が可能となり、適切な評価が行われていると感じている。 特に、各課を横断した履修判定会を実施している点は、公平性の確保につながり、評価の客観性を高めている。 ◆単位認定等の決裁手順が明確化された。 ◆成績評価は適切になされるべきであり、自己評価も4となるようにするべきである。3とした理由は何なのか。 ◆履修判定会の議事録が確認できない。 ◆選択科目も具体的なそれぞれの科目について成績分布をチェックしていただきたい。 ◆100%優である科目もあるが、その妥当性について教えていただきたい。
	単位認定を適切に実施している	⑤履修規程に基づき、授業時間の80%以上を出席し、期末の定期試験等で成績基準を満たした場合に合格とし、単位を認定している。シラバスに配点や観点を記載し、単位認定を明確化している。	3	3	◆概ね、単位認定については適切に実施されていると評価している。 ただし、出席率80%以上という基準が、各科でどの程度満たされているのかについて、科ごとの違いがある場合は明示していただきたい。 ◆出席状況や基準の明確化がどのような形で行われているのかが不明であるため、その点についても整理して示していただけると、より透明性の高い運営につながると考える。 ◆履修規定やシラバスは適切に整備されてきたと思う。 履修規定及びその対応についてのコメントは上記と同じである。